

戌 2018 新年を迎えて

めたばる

発行

自衛隊目達原駐屯地
〒842-0012佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



九州補給処長 兼ねて

目達原駐屯地司令



陸将補
山崎 嘉樹

明けましておめでとうでございます

十二月二十日付で第三八代九州補給処長として着任しました山崎嘉樹陸将補です。地域の皆様におかれましては平素から駐屯部隊の任務・活動に対しましてご理解と隊員へのご支援・ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。我が国周辺の安全保障環境は、北朝鮮による度重なるミサイル発射及び核実験に見られる核及び弾道ミサイルの開発等厳しい状況にあり、北部九州における航空部隊の中核及び九州・沖縄における兵站の中核たる目達原駐屯地の役割は益々重要となっております。災害派遣分野でも、昨年七月に発生した九州北部豪雨においてヘリコプター及び兵站の拠点として被災地で任務遂行する第一線部隊を密接に支援する役割を果たしました。また、昨年九月には県内の家族会、隊友会、地方協力本部と駐屯地の家族支援に関する四者協定を九州・沖縄においていち早く締結する等事態発生時ににおける任務遂行基盤を逐次整備しております。引き続き、地域の皆様の安心・安全のため、駐屯地隊員一丸となり取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となることを心より祈念申し上げます。

西部方面後方支援隊長
1等陸佐 龍太郎 佐々木



新年明けましておめでとうございます。皆様には平素より西部方面後方支援隊の部隊・隊員に対し、温かいご理解と力強いご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年、九州北部豪雨に伴う災害派遣 九州地区における不発弾処理等の各種任務を完遂することができました。今年もあらゆる任務に即応するとともに南西地域の防衛態勢強化のため、九州補給処や在日米軍との連携を一層強化して、各種準備に邁進する所存です。今年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げます。

九州補給処最先任上級曹長 兼ねて
目達原駐屯地最先任上級曹長
兼ねて
陸尉 達美 廣瀧



陸尉 達美 廣瀧

新年あけましておめでとうございます。旧年中は隊員皆様のご協力に深く感謝申し上げます。本年も駐屯地司令を補佐し、各部隊の最先任上級曹長等と連携し、駐屯地の規律の維持、部隊間の融和団結に努力してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしく、お願い申し上げます。

第三対戦車ヘリコプター隊長
2等陸佐 水野 宏治



2等陸佐 水野 宏治

新年明けましておめでとうございます。本年も、ヘリコプター火力戦闘部隊としての誇りと気概を持ち、任務の遂行に邁進してまいりますので、ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。



1等陸佐 古賀 久敬

新年あけましておめでとうございます。旧年中の皆様からのご支援とご協力に深く感謝を申し上げます。今年は創隊から半世紀を迎える節目年、新たな気持でちて各種任務に邁進する所存です。本年も宜しくお願ひ致します。

第四飛行隊長



2等陸佐 上原 祐二

新年あけましておめでとうございます。第4師団唯一の佐賀県駐屯部隊として、本年も関係各所に緊密に連携するとともに挑戦と創造を重ねる強い部隊の育成と各種事態への対応に万全を期してまいります。

鳥栖燃料支処長



2等陸佐 岡 睦男

新年あけましておめでとうございます。本年も隊員一丸となって安全確実な燃料補給業務に努めてまいります。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

西部方面管制気象隊 第一派遣隊長
3等陸佐 石丸 陽介



3等陸佐 石丸 陽介

あけましておめでとうございます。旧年中は我が隊が実施する管制気象業務にご理解をいただきました。誠にありがとうございます。今年も隊員一同着実に任務に邁進して参りますので、ご支援のほど宜しくお願ひ申し上げます。



1等陸尉 原田 健一

新年あけましておめでとうございます。本年も駐屯地各部隊の皆様へ、良質かつ安定したシステム通信サービスを提供するため、なお一層努力する所存です。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

第一三四地区警務隊長 目達原派遣隊長



1等陸尉 田中 祐昭

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。本年も引き続き、部内の秩序維持に専従する部隊として、各部隊の規律維持等に役立てるよう微力ながら努めてまいります。

空中伝送班長



3等陸尉 上妻 正太郎

新年明けましておめでとうございます。日頃より空中伝送班に対するご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。本年も引き続き総務の目となるべく即応態勢を堅持しつつ、精進してまいります。よろしくお願ひ致します。

平成二九年度方面隊実動演習

九州補給処（処長 山崎 陸将補）及び西部方面後方支援隊（隊長 佐々木 龍太郎 一佐）を基幹とする「西部方面兵站支援団」は、十月三日から十一月二日の間、平成二九年度方面隊実動演習（鎮西）に参加した。目達原及び健軍駐屯地に団本部指揮所を開設するとともに、奄美大島、沖縄本島及び九州本島に展開し、島しょ部における補給・整備について練成・検証を実施した。この際、全国各補給処からコンテナ約一四〇本を輸送し、各種補給品を各後方支援（連）隊等に交付したほか、衛星通信回線を活用した一、高段階整備を実施した。また、十一月一日、奄美大島において陸上幕僚長の視察を受け、島しょ部の作戦における兵站の重要性を確認いただいた。

さらに、沖縄に所在する米軍施設を活用して兵站施設を開設・運営するとともに、LCU（揚陸輸送艇）の支援を受け、コンテナ及びSAM（空対艦誘導弾）の輸送を行い、日米協力体制の下、兵站活動が整ったことと行われることを確認した。このほか、日出生台演習場及び十文字原演習場における築城資材・弾薬類の補給訓練、沖縄における衛生業務練成・検証等を行い、作戦基本部隊の行動に連携した各種補給品の交付等、多大の成果を得ることができた。

本訓練に参加した九処装備計画部の弓削一曹は「現地引渡部隊の先任陸曹として参加し、奄美大島における島しょ部での訓練の重要性を再認識しました。」と述べた。



鎮西 29

